

【参考】先行接種（2/17～2/25 接種）の約 2 万人のデータから、以下の副反応が報告されています。

副反応の症状	割合
接種部位の痛み	92.4%
接種部位の発赤	13.8%
全身のだるさ	23.1%
頭痛	21.3%
発熱（37.5 度以上）	3.3%

Q2 副反応が起きた場合はどうなりますか？

A2 予防接種によって健康被害が生じ、医療機関で治療が必要になったり、障害が残ったりした場合に予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。

新型コロナワクチン接種についてのお知らせ その2

町では、みなさんが安心して新型コロナワクチン接種を受けることができるよう、令和 3 年 4 月 1 日付で保健福祉センター内に「様似町ワクチン接種対策室」を設置し、準備を進めています。

5 月中に 75 歳以上の高齢者の方から接種を開始し、その後のワクチンの供給量と時期にあわせて、65 歳～74 歳の高齢者の方の接種を、その後、60 歳～64 歳の方と年齢を問わず基礎疾患のある方への接種を予定しています。接種の時期や方法については、国からの指示とワクチン供給の見通しが立ち次第、お知らせいたします。

○基礎疾患（持病）のある方のワクチン接種について

基礎疾患とは心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患、免疫不全などの病気をいいます。これらの病気のために治療や投薬を受けている方は、新型コロナウィルスの感染や発症、重症化のリスクが高いため、高齢者の次にワクチン接種の対象となります。

○新型コロナワクチンについての Q&A（基礎疾患編）

Q1 基礎疾患には何の病気があてはまりますか？

A1 以下の病気で通院や入院している方です。（令和 3 年 3 月 18 日時点）

1. 慢性の呼吸器疾患・心臓病（高血圧を含む）・腎臓病・肝臓病（肝硬変等）
2. インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
3. 血液の病気（ただし、鉄欠乏性貧血を除く。）
4. 免疫の機能が低下する病気（治療中の悪性腫瘍を含む。）
5. ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
6. 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
7. 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等）
8. 染色体異常
9. 重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態）